



クローズアップ遠野

「クローズアップ遠野」は遠野の旬な人やモノ、出来事、気になる話題などをお届けします。



1_市民の思いをのせた聖火を運ぶ利三さん(左)とサポートランナー 2_リレー時のパフォーマンス(勝典さん(右)と山口淳さん) 3_4_聖火リレーを盛り上げた市内高校の吹奏楽部と音楽部、薬研太鼓を披露した遠野北小児童 5_聖火をつなぐトーチキス(春さん(左)と道又由実子さん) 6_声援を送る遠野小児童



スタートの大役を務めた翔星さん(左)

聖火つなぐ

Hope Lights Our Way「希望の道をつなごう。」
東京2020オリンピック聖火リレー



遠野東中3年 佐々木翔星さん

経験を将来につなぐ

同級生や知っている人がたくさんいましたが、会場に立つとすごく緊張しました。聖火ランナーを経験してみて、自分の個性を出し、夢や目標に向かって自分のできることを精一杯頑張りたいと思います。



いわてグルージャ盛岡ゼネラルマネージャー 菊池利三さん

心に火を灯す着火剤に

多くの子どもたち、市民の皆さんの出迎えの中でオリンピックに再度関わることができ、感謝の思いでいっぱいです。今日の出来事が、子どもたち一人ひとりの頑張りにつながる着火剤のようなものになってほしいと思っています。

希 望の道をつなごう。をコンセプトに、121日間の日程で開催されている東京2020オリンピック聖火リレーは6月16日から3日間、本県で行われました。

本市では6月18日、市役所本庁舎前から遠野市国体記念公園市民サッカー場までの約2.1キロを11人のランナーが駆け抜け、聖火をつなぎました。本市関係者として▽佐々木翔星さん(遠野東中3)▽奥友勝典さん(小友町)▽菊池春さん(材木町)▽本市出身でいわてグループジャ盛岡GMの菊池利三さん——の4人が大役を務めました。最終区間では市内の児童生徒20人がサポートランナーを務め、利三

さんと一緒に聖火をゴールへとつなぎました。沿道では、小中学生を中心に大勢の市民が拍手や小旗などで歓迎。希望の炎が遠野路に灯りました。

ゴール地点で聖火を見守った浜田キミさん(松崎町・94歳)は、「30歳頃だったかな、東京五輪を楽しみに働いていた」と前回大会を回想。サポートランナーを務めた佐々木彩晴さん(綾織小6)は、「貴重な体験ができてうれしい。楽しいオリンピックになってほしい」と声を弾ませました。

本県から宮城県へとつながれた聖火は、残りの都県でつながられ、7月23日の東京五輪開会式で国立競技場の聖火台に灯されます。

縄文文化

TONO MONOGATARI to TONO no JOMON BUNKA

遠野の

遠野物語と

遠野市立博物館令和3年度夏季特別展

市民招待券
チラシと持参の方2名様まで
無料でご覧いただけます。

令和3年
7/16 金
▼
9/23 木・祝

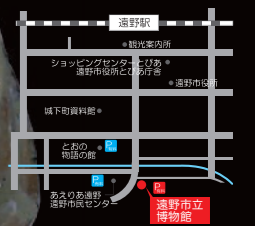
会場 ● 遠野市立博物館 企画展示室
入館料 ●
個人/一般310円 高校生以下160円
団体/一般260円 高校生以下110円
(20名以上)
開館時間 ● 午前9時～午後5時
(入館受付は午後4時30分まで)
休館日 ● 8月31日(火)

主催 ● 遠野市立博物館
後援 ● 岩手日報社、岩手日日新聞社、朝日新聞盛岡総局、毎日新聞盛岡支局、読売新聞盛岡支局、河北新報社、NHK盛岡放送局、IBC岩手放送、テレビ岩手、めんこいテレビ、岩手朝日テレビ、エフエム岩手、遠野テレビ

特別展記念イベント

特別展
「遠野物語と遠野の縄文文化」
ギャラリートーク(30分間)
特別展の見どころを学芸員が解説します。
日 時/7月16日(金)
8月6日(金)
9月3日(金)
午後1時30分～午後2時

ワークショップ
「土偶を作ろう！」
木粉ねんどを使って土偶を作ろう！
日 時/8月1日(日)午前10時～12時
会 場/遠野市立図書館1階視聴覚ホール
会 講/当館学芸員
対 象/小学生
定 員/20名(事前予約制)
参 加 費/無料
申込方法/電話または来館による直接申込み
問合せ先/遠野市立博物館 0198-62-2340



遠野市立博物館
TONO MUNICIPAL MUSEUM
〒028-0515 岩手県遠野市東館町3番9号
電話 0198-62-2340 FAX 0198-62-5758